



都立田無養護学校



明保中学校



田無第四中学校



柳沢中学校



青嵐中学校

スキー教室



あっという間に上達!?

青嵐中学校



鑑賞教室

田無第四中学校

中国の伝統芸術である雑伎(曲芸)と京劇を鑑賞しました。人間業とは思えない柔軟なバランス芸、鍛えられた技術を見て生徒一同感動しました。



百人一首大会

田無第二中学校

田無第二中学校では古典の学習のまとめとして、「百人一首大会」を行いました。1、2年生の全員が伝統的競技を通じて古典的仮名づかいや文体のリズムを体感しました。

研究発表会報告

西東京市研究奨励事業研究指定校の柳沢小学校の研究発表会を報告します。

1月27日、柳沢小学校において西東京市研究奨励事業研究指定校研究発表会が行われました。当日、本市の先生方をはじめ、北は青森県から、南は九州熊本県の先生方を含め389名もの方々の参加がありました。

柳沢小学校はこれまで、「目指そう! わかる授業!! 楽しい授業!!」を研究のテーマとして掲げ、2年間にわたり研究を進めてきました。1年目は「とにかく実践してみよう!」の方針の下、6名の先生方を講師に迎え、全教員が研究授業を行いました。

講師の先生方の指導を受け、「わかり、楽しい授業」にするためにはどのような手立てや工夫が必要かを探究しました。2年目は年間講師に多摩教育事務所指導課の小嶋隆夫先生を迎え、前年度の研究成果を踏まえ、1時間の授業の構成に焦点を当て、「教材研究」、そして「学習展開の工夫」について研究を深めました。

当校の研究の概要を表および以下に示します。

3つの足ぶみの解消

解けるのに待たされる。解けてしまいうるやうにできない。わからないのに教えてくれない。

これらの足ぶみを解消するために次のような工夫をしました。への工夫、課題を与えたらすぐに解かせる。この段階では自由な発想を保障するために「ヒントになるようなものは見せない、いわない、与えない」ようにして自分の力で課題を把握できるようにする。への工夫、他の解決方法を考えさせたり、考え方の説明を書かせたり、発表の準備をさせる。

への工夫、つまりしている子には、一か所に集めた小集団指導を行い、個に応じた指導をする。

自力解決の手順

自力解決の手順として次の4点を実践しました。問題をノートに書く。絵、図、数直線、表などに表して解決の見通しを立てる。見通しに従って式を立て、自力解決する。

他のやり方を考える説明をノートに記述する。そのほかにも話し合いの進め方について、ノート指導の充実、まとめ方の工夫等についても研究を深めました。



ノート指導の充実

成果と課題

成果

既習の学習を生かし、自力で課題を解決していく力や意欲が育ってきた。絵や図、数直線を使って問題の解き方や説明を表現できるようになった。他の考え方はないか、幅広く



研究授業の様子

考えるようになった。自分の考えと友達のを比較したり、他の考え方を取り入れることができるようになった。ノートのへの記述が質・量ともに格段に上達した。

課題

学んだことを定着させるためにはさらに習熟の時間を確保する必要がある。話し合い活動を深めるための工夫をさらに検討していくことが大切である。「3つの足ぶみ」解消のための多様な手立てを今後も実践を通して探っていく必要がある。授業改善推進プランに基づき、プラン「ドゥー」チェックの機能を働かせ、より良い指導方法を探っていくことが大切である。

平成17年度 教育委員会表彰

2月27日、保谷庁舎において教育委員会表彰式が追加して行われました。

今回は、水泳競技で優秀な成績を収めたということで柳沢中学校1年山田大貴さんが表彰を受けました。山田さんは関東中学校水泳競技大会100メートルバタフライ1年生の部優勝、東京都中学校学年別水泳競技大会100メートルバタフライ1年生の部優勝等、輝かしい活躍が認められました。



左から竹尾教育委員長、山田さん、宮崎教育長

目指そう! わかる授業!! 楽しい授業

わかる授業	楽しい授業
<ul style="list-style-type: none"> 自分の力で解決できる 教えてもらって解決できる 学習したことを活用して課題を解決できる 話し合いの場で、友達の説明を聞いて学習が深まる 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決の喜びや満足感が得られる 学習への満足感が得られる 夢中になって学習に取り組める

「何を考えさせるのか」「何を教えるのか」を見定めた授業改善を行うことが自力解決し、表現できる子を育てる

「目指す児童像」自力解決し、表現できる子

授業改善3つのポイント

- 3つの足ぶみの解消
- 話し合いを深める
- まとめ方の工夫

日々の授業の積み重ね

ノート指導の充実

講師を交えた「事前研究」「実証授業」「授業検証」

基本の学習展開の仕方を学び土台をしっかりと築く

子ども文芸大賞 受賞と 市長表敬訪問

昨年12月18日、住吉小学校5年本橋のさんが武蔵野子ども文芸大賞を受賞しました。全国入りすぐりの作品の中から選ばれ、すばらしい評価を得ました。

1月10日には市長室において市長との懇談会をしました。本橋さんは受賞作品の朗読の後、文芸作品の感想や日常生活の様子、将来の夢などを語りました。



本橋さんは「とても緊張しましたが、とても嬉しかったです」と語り、実際に堂々とした立派な姿に参加者一同、将来の活躍を期待しながら会を終りました。

おわりに

市民の皆さまには、今年度の本市の学校教育活動および生涯学習活動に多大なご協力をいただき、誠にありがとうございました。お陰さまで、さまざまな活動を行うことができました。市立小学校では今年24日に1548人、市立中学校では17日に1254人の子どもの卒業式を迎え、新しい環境へとステップアップします。

教育委員会では今後も、子どもたちや市民の皆さまの学習の場の充実や、活動の実践に努めてまいりますので、よろしくお願いたします。

西東京市教育委員会